

平成 28 年度総会あいさつにかえて

新緑の候、新たな年度が始まり社員の皆様方におかれましては、それぞれの立場で日々ご活躍のこととお慶びいたします。あわせて、日頃のカンボジア支援活動に関わる物心両面のご協力にあらためて感謝いたします。

カンボジアとの交流は本年度で 9 年目を迎え、新たな節目を迎えようとしています。といたしますのは、ここ数年支援活動の拠点としてきたバイヨン中学校の学校施設建設第 3 期工事が終了し、カンボジア標準をかなり上回る**学校施設が整った**こと、さらに 2013 年開校以来、教育活動支援の目標であった**運動会を予想以上の成果**を収めて実施できたことなど、当面の目標がほぼ達成できたことの原因によるものです。

前者に関わって、民間助成基金から助成総額 5,984,350 円(25・26 年度)、一般支援募金 4,329,077 円(25・26・27 年度)をいただけたことは、支援活動の最大の推進力になったことは言うまでもありません。その反面、助成採択条件が年々厳しさを増しており、昨年度は、ここ十年來初めて**大口民間助成金がゼロ**といった残念な結果でありました。これからの**支援基金確保に大きな課題**を投げかけています。

後者につきまして、金田勝己社員を始め関係社員が一丸となって取り組んできた運動会の実施は、本法人社員のエネルギーのすごさとそれぞれのよさを発揮できた事業であったと自負しています。また、杉浦修社員を始めとする関係社員の撮影技術によって素晴らしい映像が編集・収録できたことは、活動の様子を広く世間に理解していただくと同時に、200 人近くの募金支援者の皆さんからの**浄財を目に見える形でお返しすることができ**、支援の継続をお願いするに当たって大変大きな力となりました。

このように昨年度は、成果と課題が大きくクローズアップした一年でもありました。成果としての運動会は、バイヨン中学校のさらなる発展をめざしつつ**第 2 回の運動会**へと、またここでの経験を生かし 6 月には**教員養成学校での運動会**の実施を、さらに将来的には**シエムリアップ州内の小中学校での運動会**の普及を位置づけていきたいと考えます。一方、課題としての資金集めの新たな方法として、『クラウド・ファウンディング・サービス』の利用を考えていくことも時代の趨勢に合ったものと考えています。ご検討ください。

本年度も新たに 5 名の新入社員をお迎えし、よりいっそう支援の幅の広がりと充実が予想されます。と同時に、**国内外のより多くの関係者の皆さんと楽しく交流し、共に学び共に育つ共育(きょういく)の推進**がよりいっそう図られるものと期待しています。

本年度もどうぞよろしく申し上げます。

平成 28 年 4 月 24 日

特定非営利活動法人オアシス 足立泰敏